

◆消費税に頼らない税制改革を!

日本共産党船橋議員団

ミニにゅうす

日本共産党国会議員団千葉事務所 ☎043-302-2005
 県会議員 丸山 慎一 ☎047-424-6347
 <市議団控室☎436-3030 FAX420-7201>
 市会議員

岩井 友子 ☎438-8647 事務所☎429-2160 関根 和子 ☎447-0557 事務所☎440-7950
 金沢 和子 ☎422-5278 中沢 学 ☎493-8140
 坂井 洋介 ☎404-2039 松崎 さち ☎432-9317
 佐藤 重雄 ☎432-9872 渡辺 ゆう子 ☎462-7273

東葉高速鉄道の運賃引き下げを

1996年の東葉高速鉄道開業以来、沿線住民は20年以上に渡って、北総鉄道と並んで「日本一高い」と言われる異常な高運賃に苦しめられ続けています。「いくらなんでも高すぎる」、「長年東葉高速鉄道を利用してきた。もうそろそろ利用者に還元されてもいいんじゃないか」、「一体いつまでこの高運賃を我慢し続けなければならないのか」といった声が沿線住民の間にあふれています。

東葉高速鉄道株式の80%は千葉県・船橋市・八千代市の自治体が保有する「自治体セクター」です。

船橋市は東葉高速鉄道株式の大株主なのです。松戸徹市長は取締役の1人です。異常な高運賃の責任を船橋市も負っています。

高運賃の原因となっている長期有

利子負債の返済先は「独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構」Ⅱ国。その後建設された新線「つくばエクスプレス」とは正反対の、「有利子資金による鉄道建設方式」を採用したのは国。低利への借り換えを許可しなかったのも国。東葉高速鉄道株式会社が巨額の長期有利子負債を抱えたのは国に大きな責任があります。

「そのことを国に対してはつきりと指摘し、利子免除・返済期間延長を求めざるべき。そうすればその分を異常な高運賃の是正に充てることできる」、「債務超過を着実に減らしていかなければならない」という立場に立っている限り運賃引き下げは無理ではないか。『国の責任だ。返済期間を先延ばししろ』と求めよ、

「当期純利益と支払利息を運賃の引き下げに回せば、少なくとも3割の運賃引き下げが実現できる」と質しました。

答弁に立った山崎副市長は、「償還期間の更なる延長、利払い免除を要求している。市長は傍観者ではない。各団体の首長、これは真剣にやる」と答えました。

いよいよ船橋市の姿勢が問われます。

日本共産党船橋市議団主催

無料 法律相談

1月24日(木)
2月14日(木)

弁護士が相談を受けます
労働相談も受けています

会場：中央公民館
時間：午後1時～4時
要予約 ☎436-3030



金杉台中学校の統廃合は子どもにとって、最善なのか

安倍政権は、全国の自治体に「地方行政のサービス改革の推進に関する留意事項」という通知を出し、全自治体に「公共施設等総合管理計画」を策定させています。

計画の目的は、地方の人口減少を逆手に取り、「だから、行政サービスや公共施設の集約が必要だ」として、地方自治体への財政支出を削減しようというものです。

行われようとしています。利用者の声や、施設の役割を無視した「最適化」は、「行政サービスの削減」にしかありません。

保護者説明会では、反対が多数

市はこうした動きの中で、金杉台中学校の統廃合計画を進め始めています。

市の教育委員会は、平成29年から3回にわたり、学校評議員やPTAの役員を対象に「考える会」を設置し、1学年1学級の状態が続いているのを理由に、「クラス替えを行い、切磋琢磨する機会を増やして社会性を育てむ」、「より多くの部活動を設置

する」などと、統廃合が必要であるような説明をしてきました。しかし、昨年の11月、金杉台小学校と金杉台中学校の保護者を対象とした説明会が初めて実施され、参加した保護者の多くは、「統廃合はやめてほしい」との声をあげました。

船橋市は、これまで、統廃合によって最も影響を受ける、金杉台小学校と金杉台中学校の保護者の声を丁寧に聞いていませんでした。説明会では、こうした市のやり方にも、批判の声が寄せられました。

子どもにとって、一番いいのは

子どもたちにとって、クラス替えや部活動は、確かに、重要なことではありますが、金杉台中学校で少人数教育が実施されている現状について、「一人一人の子どもたちがとても大事にされている」と、多くの保護者が実感し、評価しているのが実態です。

子どもにとって一番いいこと

は何かを検討するのであれば、まずは、統廃合ありきの進め方はやめるべきではないでしょうか。

等総合管理計画」が策定され、公共施設の配置と設置量の「最適化」なるものが進められようとしています。市内の学校もこの計画に合わせて「最適化」が

る機会を増やして社会性を育てむ」、「より多くの部活動を設置

昨年12月議会では、「まず保護者の声を聞き、今後は統廃合ありきで進めるのはやめること」を、市に求めました。市は、「今後は保護者の方、地域の方に引

き続き説明会を開催していく」「クラス替えができない、部活動ができないことなどを総合的に考えて、子どもたちにとって何が一番いいのかというところに重点を置いて考えていく」と答えました。

子どもたちにとって、クラス替えや部活動は、確かに、重要なことではありますが、金杉台中学校で少人数教育が実施されている現状について、「一人一人の子どもたちがとても大事にされている」と、多くの保護者が実感し、評価しているのが実態です。

子どもにとって一番いいこと